



# 吉田キャンパス

YAMAGUCHI UNIVERSITY  
山口大学

# 散策Map

## 1 正門



石積み壁を巡らせた正門一帯を学生・教職員の心のよすが、思い出の風景、大学の顔として位置付けている。また、この場所は、学生・来訪者の記念撮影の絶好の場所ともなっている。

## 2 長州五傑記念碑



ロンドン大学と山口大学との学術交流協定締結を記念し、偉業を成し遂げた5人の若者を顕彰し、長州五傑記念碑が設置されている。彼らは日本から英国への初めての留学生で、その後の日本の近代化に大きく貢献している。また、この記念碑の右側にはイギリス大使館から寄贈された記念樹（オーク）が植えられている。

## 3 菖蒲池



美しい彩りの錦鯉が泳ぎ、遊歩道を進めば池を一周できる。休憩用に東屋やイスが備えられており、休息、思案の場として利用できる。6月上旬～下旬にかけてハナショウブが見頃をむかえる。

## 3 カイツカイブキ



教育学部支庁前には樹齢100年を超えるカイツカイブキが2本あり、写真のイブキは幹回り2m、葉張り6m、樹高10mと学内に残存するイブキの中で最大、最高級のものでされている。

## 3 皇太子殿下下啓記念碑



明治7年に設置された教員試験所から100周年を記念し、旧山口師範学校にあった皇太子殿下下啓（大正15年）の記念碑を移築したものである。

## 4 遺跡公園



山口大学構内には、縄文時代から江戸時代にかけての県内でも数少ない集落遺跡が分布しており、とりわけこの区域一帯では、弥生時代中期から後期の竪穴住居の他、河川、溝、土壌などが多数発見されている。

## 5 商品資料館・山田孝太郎記念館



明治38年、山口大学経済学部の前身である山口高等商業学校が創設され、商品学の授業の研究資料として各種商品の収集が始められ、平成7年全国的に珍しい商品資料館が建設された。東亜経済研究所は、平成20年に新棟が設立され、山田孝太郎記念館の名称で親しまれている。これは、(株)ヤマコー代表取締役山田宏氏が、祖父の「母校への思いを形に」との願いから、寄付したことによるものである。

## 5 石造台座



明治38年に設立された山口高等商業学校のあった建設の地に、第4代尾尾治校長のブロンズ製胸像を載せて設置されたもの。胸像は第2次世界大戦のさなか、鉄類供出され、台座のみが残されていた。平成20年の山田孝太郎記念館の竣工に際し、台座正面に尾尾校長のレリーフと、台座に硝子ガラスを用いて旧講堂の尖塔を模した照明器具をここに設置した。

## 6 弥生時代の土器



下関市伊倉遺跡より出土した弥生時代前期の土器。伊倉遺跡の位置する響灘沿岸地域は、弥生時代の遺跡が豊富に分布しており、山口県域の弥生文化を考えるうえで重要な場所となっている。

## 7 火山弾



この火山弾は30～40万年前、山口県北西部に分布している阿武火山群の一つ、伊良尾火山の噴火で放出されたものである。火山弾は噴火口から空高く飛び上げられたマグマのしぶきが空中で回転しながら固まったもので、特徴的な形や表面の模様、内部構造をしている。

## 8 糸米遺跡台4号墳の石棺



山口盆地北西部の峰ノ峰から南方に派生した低丘陵上の糸米地区で発見された遺跡を、昭和54年10月に山口大学構内に移築復元した。正確な時期は不明だが、弥生時代末期のものと考えられる。

## 8 埋蔵文化財資料館



埋蔵文化財資料館では、吉田団地で出土した土器等の展示を行っている。

## 9 日本庭園



上流からの自然水を利用した日本庭園と、その周辺にはヤナギ、ツツジ、サルズベリ、ヤマモモ、ハナショウブ等の花木が一年中楽しめる。錦鯉が泳ぎ安眠の場となっている。

## 10 大学会館前モニュメント



『ニライ・カナイ・85-8 時空を超えた無限なるかなたへ...』1985年の第11回現代日本彫刻展に出品された柴利秋氏の作品。素材は花崗岩（能勢黒）。

## 11 放牧場



自然豊かなキャンパスを活用し、馬術部の馬を放牧している。放牧は涼しい時期に行われており、運が良ければサラブレッドの駒に出会える。

## 12 共育の丘



平成22年4月里山頂上に共育の丘を整備した。頂上には長門市出身の彫刻家大井秀規氏作品『Gravitation（知の集積）』が設置されており、また、吉田キャンパスや山口市内が一望できる。

## 12 石彫方位盤



周南市黒髪島の御影石を用いた方位盤は、本学教育学部上原一明氏の作品である。五大陸と六次州をイメージしたもので、本学と交流のある外国の大学（姉妹校、学術提携校、学部間協定校等）の都市名が刻印され、散策に訪れた人々の人気スポットとなっている。

## 12 共育の丘遊歩道



四季折々にツバキ、サクラ、ミツバツツジ、ネジキ等の花が咲き、キジやウグイス、タヌキ、ウサギ等の動物にも出会う。また、一周約800mの遊歩道は、健康のためのウォーキングコースに最適である。

## 13 ビオトープ



平成19年度から学生によるホテルプロジェクトが発足し、成虫の採取、産卵、放流までの一連の活動を行っている。この活動により、毎年5月下旬～6月上旬には多くのホテルの舞飛が様子が見られる。また、川の周辺にはサクラ、ツバキ、ヤナギの他ミモザ、ショウブ等の花々が楽しめる。

## 14 ハス池



平成21年に源久寺（山口市）より大賀ハス（古代ハス）の株を譲り受けたもので、毎年6月下旬～8月中旬にかけて見ごろをむかえる。大賀ハスは午前8時ごろをピークに盛過ぎまで咲き、直径20cmの大輪の花を咲かせる。

